

もう食べる金もない 日比谷公園相談会 窮状訴え

日比谷公園相談会 窮状訴え

新型コロナウイルスの感染拡大で、仕事や住まいを失うなど、生活に困窮する人たちが行政の支援につなげるため、19日に東京・日比谷公園で開かれた「なん

おにぎりのため1時間半歩いてきた

公園で野宿 国は困っている人支援を

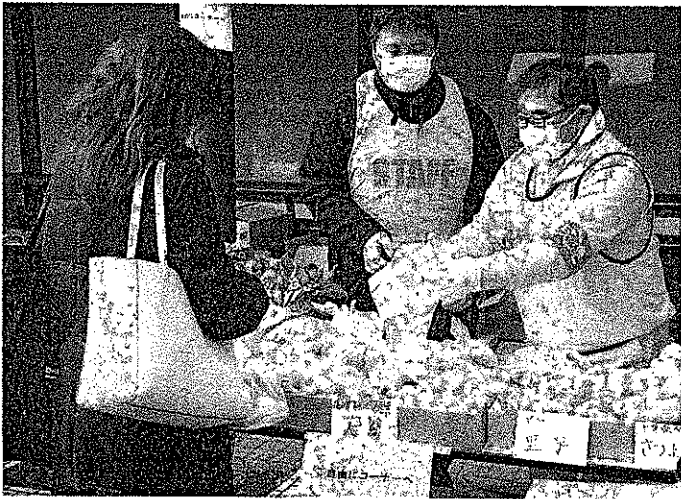
「おにぎりをもうろう性(70)は「仕事も家ため」に1時間半かけ「もない」と言います。歩いてきたという男 日雇いの建設業で20年

以上働いてきましたが 退職金と貯金は底をつきまじました。「生活保護も考えましたが、実家も払えなくなりました。」

生活保護の利用も考えたものの、「役所で施設に入らないと保護は受けられないと言われた知り合いが多い。」

「所持金はもう数百円しかなく、あすから食べるお金もないと思つていた。ここに行けば何とかなるかもしれ

「キャバクラのボーイをしていたという50代男性は、コロナの影響で店が縮小され失業。寮を追い出されまし



「なんでも相談会」で食料品などを配布するスタッフの人たち。19日、東京都千代田区

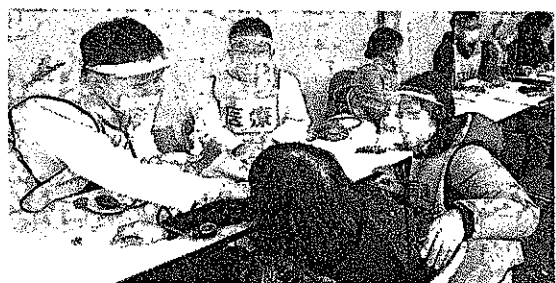
(取材団)

語ります。主に会社のほとタクシーに業務しかなか見つからないと移転作業を手がける日てきまじりましたが、1年を取ため息まじりで語りま

5日はあった仕事で、続けられなくなった。は、言葉の暴力がひどい感じが再び急増した11 退職のため勤務先のお世話を余儀なくも対応してくれな

きで、今は公園で野宿 どの清掃の仕事に月3 ハローワークだけで回ほど出ても収入はわなく雑誌などで仕事を

元タクシー運転手の 保護を受けながら仕事 た野菜を手話しまし 男性(68)は、通算20年 を探していますが、な た。



「なんでも相談会」で対応するスタッフ。(左から) 谷川智行氏、小池晃氏=19日、東京都千代田区

(党都委員会新型コロナウイルス対策本部長)とともに訪れた人たちの医療面の相談に対応しました。

川越市の男性は、レンタカーを指定された場所まで移動させる個人請負の仕事についています。

「コロナ禍のもと「仕事が減り、苦しいときは自治体の炊き出しのお世話になっています。不安感を強く覚えるようになりました。薬をもらえたらと思うのですが、専門の病院に行くのは敷居が高い」と話しました。

小池谷川氏が参加

日本共産党の小池晃書記局長は、ともに医師である谷川智行氏

小池氏は、男性の一言一言になすきながらメモを取り、「まずは総合診療科の医師に相談を。いつでも力になります」と応え、受診するための案内をしました。